

R7年度東北地域災害科学研究集会 発表プログラム 第二会場(会議室 1)

【第1部】司会：堀合 紳弥 先生			
12月22日(月) (会議室 1)	第1部	13:00-13:15	降雹予測ノモグラムの福島県における適用性
		13:15-13:30	令和5年7月秋田豪雨時の浸水調査データの検討
		13:30-13:45	水害時における車椅子利用者の避難経路リスク分析-健常者との比較を通して-
		13:45-14:00	追従走行モデルによる歩車相互作用を考慮した津波避難交通シミュレーション
		14:00-14:15	東北大大学キャンパスにおける帰宅困難者数の推定
		14:15-14:30	遠地津波発生時の仙台港周辺における避難者動態
		14:30-14:45	がんばる避難施設の潜在能力について
		14:45-15:00	休憩
		15:00-17:20	公開講演（企画展示ホール）

12月23日(火) (会議室 1)	9:15-10:00	地区総会(セミナー室)	
	【第2部】司会：柴山 明寛先生		
	第2部	10:15-10:30	1964年新潟地震と福島県一福島民報・福島民友新聞の記事からの考察ー
		10:30-10:45	都市直下型地震時の重症者を対象とした災害拠点病院の医療需給の評価
		10:45-11:00	東日本大震災の被災地における児童数動態についての研究～経済基盤と人口動態という初期条件の比較分析～
		11:00-11:15	地域密着型産業が被災地のコミュニティ・レジリエンス形成に果たす役割—移転再建を経験した酒造を対象としたグラウンド・セオリー・アプローチー
		11:15-11:30	福祉避難所における電力供給に関する一考察
		11:30-12:30	昼食
	【第3部】司会：植松 康先生		
	第3部	12:30-12:45	ラーメン骨組における連續補剛されたH型鋼梁の数値解析モデルの構築
		12:45-13:00	Augmented Kalman Filterによる建物非観測階応答推定
		13:00-13:15	PLA装置を用いた圧力載荷実験による薄板の応力分布の把握
		13:15-13:30	通常型および改良型通気工法外壁システムに求められる耐風圧性能
		13:30-13:45	鉄鋼スラグ製ジオポリマーの硬化剤濃度と材齡が組成に与える影響の観察
		13:45-14:00	補剛間隔の異なる並列H形鋼梁の横座屈性状の把握
	【第4部】司会：佐藤 健先生		
	第4部	14:15-14:30	大雨経験を踏まえた学校防災の展開：酒田市と鶴岡市の大雨時学校対応
		14:30-14:45	学校防災マニュアル更新におけるいくつかの視点
		14:45-15:00	学校統廃合がもたらす地域防災への影響
		15:00-15:15	地域における防災活動プロモーターの交代支援に関する実践
		15:15-15:30	女性が力を発揮するコミュニティ防災教育の推進
		15:30-15:45	若年被災者の声を活用した震災伝承活動
		15:45-16:00	津波避難ゲームの提案と教育効果